

# 社団法人全日本学生柔道連盟だより

第15号

2010年6月20日発行

編集・発行 総務担当理事部会

## 役員改選、佐藤宣践会長の3期目スタート

先に開催されました臨時総会・理事会におきまして、佐藤宣践会長以下新執行部が選出されました。なお、本年度から、定款に基づき、総務・教育・財務・競技の4委員会からなる専門委員会制度が実施されます。(下記参照:組織図)連盟運営の目的を達成する機関として、活発な議論とともに実践的な提案と行動が期待されています。また、昨年度から準備をしておりました公益法人制度改革に伴う新法人への移行に関しても慎重審議を経て決定がなされ、一般社団法人としてスタートを切ることとなります。来年度は学生柔道60周年の記念すべき年度となります。佐藤会長の強いリーダーシップのもと、執行部一丸となり、直面する課題解決や将来展望に立った取り組みを行っていきます。

## 安定的な財政基盤の確立と長期的視野に立った行動

現下の厳しい社会経済環境は、本連盟の運営にも少なからず影響を与えています。接続可能な財政基盤の確立は不可欠です。近年、佐藤会長の提唱により導入されたオフィシャルサプライヤー制度や、拡充されたサポーター(賛助会員)制度が功を奏して、現在、連盟の財政運営は安定しております。(直近5年の収支推移は下記)しかしながら、連盟を取り巻く環境変化に対しては主体的に為す術がないのが実情です。今後、協賛企業に対する財政的なアプロー

チは大変厳しい状況が予測されています。地区学連・会員との情報共有と一層の連携をはかり、自立的な運営を期して、長期的視野に立った行動を展開していきます。

## 法人としての役割の遂行

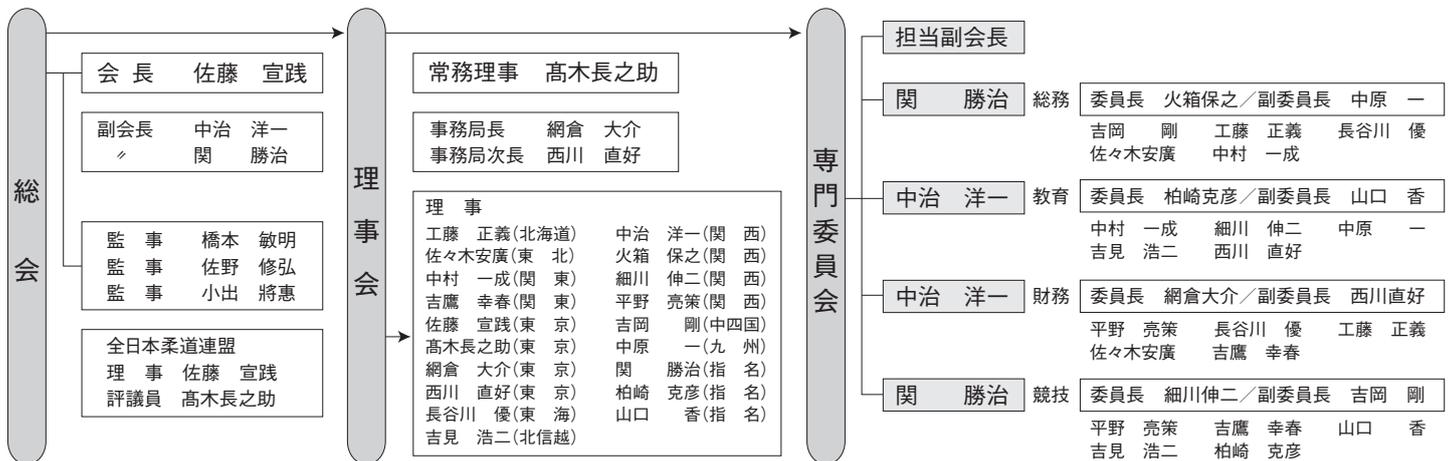
昨年度は、主催する四大会を始め、指導者研修会・審判講習会(2回)・学生柔道に関する助成・海外研修・教養講座などを実施しました。本年度は、例年通りの事業を実施いたします。大会事業としては、三大会を開催し昨年度から事業化された全日本学生柔道女子選抜体重別団体優勝大会を、本年度においては、兵庫県尼崎市で開催される全日本学生柔道体重別団体優勝大会と同日同会場において開催し、大会名称を平成22年度全日本学生柔道体重別団体優勝大会(男子12回 女子2回)と改め開催致します。また、国際社会で活躍出来るグローバルな人材を育成するために海外研修もより充実させるべく計画しております。

## 運営方針の継続

これまでと同様、IT化を進め、事務の簡素・効率化を図ります。さらに地区学連との連絡調整や、会員との双方向での情報交換の充実を図ります。また、事業別の仕分けも定期的実施し、恒常的な経費の見直しをはかり、連盟の健全運営に努めます。

常務理事 高木長之助

(社)全日本学生柔道連盟組織図(2010-2011)



理事の職務分担	総務委員会	(1)定款及び細則ならびに各種規定に関する事 (2)年間計画の策定に関する事 (3)日程の調整に関する事 (4)会報及び出版物の刊行に関する事 (5)助成及び顕彰に関する事 (6)正会員に関する事 (7)他団体との折衝に関する事 (8)その他、各委員会の所管に属さないこと等
	教育委員会	(1)研修会、講習会、教養講座など教育事業に関する事 (2)国際交流に関する事 (3)医学に関する事等
	財務委員会	(1)資産及び会計に関する事 (2)会費の徴収、財源の確保に関する事 (3)賛助会員の拡大に関する事 (4)競技会の協賛に関する事等
	競技委員会	(1)競技に関する事 (2)審判員に関する事 (3)競技力向上に関する事 (4)国際競技会等への代表選手選考に関する事等

正会員数(地区学生柔道連盟別・2010年6月20日現在)

北海道	東北	関東	東京	東海	北信越	関西	中国四国	九州	合計
23	29	47	49	33	20	52	30	34	317

法人化後の収支推移 単位千円

年度	収入	支出	差額	繰越
H 16	58,352	54,226	4,126	39,010
H 17	55,539	52,051	3,488	42,498
H 18	50,928	71,827	▲20,899	21,600
H 19	53,697	54,748	▲1,051	10,549
H 20	59,484	59,698	▲214	10,335

【訃報】前年度事務局局長の大嵩崎日出夫氏が2月23日ご逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

## 【北海道】

平成21年度は北海道学生柔道連盟にとって実りの多い年となった。10月に行われた全日本学生体重別選手権大会で、川島巴瑠菜選手（旭川大）が女子78kg以下級で優勝し、長尾翔太選手（道都大）が男子90kg以下級で準優勝という結果を残した。これは当連盟初の快挙である。両者には最終学年である今年度の活躍を期待すると共に、他の選手にはそれに負けない頑張りを望みたい。

また、連盟活性化の一環として平成19年度に導入した優勝大会の男子3人制に室蘭工業大学・北星学園大学・小樽商科大学・北海道東海大学の4大学が参加し優勝を争った。優勝した室蘭工業大学は今年度は7人制にエントリーしている。今後もどのような形であれ一つでも多くの大学が優勝大会に参加してくれればと期待する所である。

平成21年度の当連盟への加入状況は、北海道自動車短期大学・函館大谷短期大学が部員不足のため加盟を見送ったが、旭川医科大学・北翔大学・札幌国際大学の再加盟があり平成20年度より1大学増となった。今年度も部員不足により加盟を見送る大学があるのではと予想されるが、北海道文教大学・釧路短期大学が加盟を検討しているとの情報もあり、最低限現加盟数を維持することが出来るのではないだろうか。

反対に、登録部員数は減少傾向にある。一時は400名を越えていたが、1昨年は375名、昨年は359名であった。全国的な競技者数の減少という状況の中での数字なので、当連盟の努力だけでは如何ともし難い問題かも知れないが、その傾向に歯止めが掛けられるよう岩崎会長を中心に知恵を絞って行かなければならないだろう。

### 平成22年度北海道学生柔道連盟役員

会 長	岩崎 満
副 会 長	畠中 金雄・丸山 淳士・吉田 博一
理 事 長	工藤 正義
副理事長	石本 詔男・小山 尋明
事務局長	岩井 眞
	北海道学生柔道連盟 事務局長 岩井 眞

## 【東北】

### 1. 役員の変更

今年の改選時期に伴い、理事長の遠藤純男氏が新会長に選出されるなど会長以下三役が替わった。任期は2年間。

名誉会長	菊地 金男・元会長、東北大学
*顧問	佐々木武人・前会長、福島大学
*会長	遠藤 純男・ノースアジア大学
*副会長	高橋富士男・東北学院大学
*副会長	村本 光二・東北大学
*理事長	佐々木安廣・富士大学
副理事長	三戸 範之・秋田大学
副理事長	高橋 俊哉・弘前大学
監 事	大関 貴久・東日本国際大学
監 事	南條 充寿・仙台大学
*事務局長	阿部 文智・東北学院大学
*学生委員長	布川 愛久・東北学院大学 (*～新)

### 2. 東北学連初、世界選手権大会に出場

今年、東京で開催される世界選手権大会に今春仙台大学を卒業した田中美衣選手が選ばれた。平成19・21年度と全日本学生体重別選手権大会-63kg級の頂点に立ち、またユニバーシアード大会や青島国際等の国際大会でも活躍したが世界選手権大会となるとまた格別なものがあられる。東北学連初の快挙であり、表彰台の一段でも上を目指して頑張ってもらいたい。

### 3. 第9回東北学連海外遠征の実施

団長以下30名のメンバーで、本年3月8日から4泊5日で韓国・国立体育大学を交流先として遠征した。2年に一度の実施であるがこれまで9回のうち8回が韓国である。やはり経費面を考えると隣の国となってしまう。そして、これまでの遠征で事件事故が一度もないことも自慢のひとつであり、これからも細心の注意で海外交流を継続してまいりたい。

朝6時の朝トレから午後の稽古と体育大選手と一緒に汗を流した。今回も選手諸君にとっていい体験のできた遠征となった。

### 4. 今年度の主な大会（予選会）

- (1) 東北学生柔道優勝大会  
5月16日（日）宮城県武道館
- (2) 東北学生柔道体重別選手権大会  
9月4日（土）岩手県営武道館
- (3) 東北学生体重別団体優勝大会  
9月5日（日）岩手県営武道館

東北学生柔道連盟 副会長(事務局) 高橋富士男



平成21年度東北学生柔道優勝大会(宮城県武道館)



平成21年度東北学生柔道体重別選手権大会(岩手県営武道館)

## 【 関 東 】

### 平成 22 年度に向けて

本年 2 月に行った平成 21 年度関東学生柔道連盟総会において、役員改選があり、尾形敬史先生を会長とした 5 期目の体制が整えられた(新任は下線あり)。役員メンバーは次の通り。顧問：出河達雄(城西大学)、樗沢隆治(国際武道大学)、会長：尾形敬史(茨城大学)、副会長：柏崎克彦(国際武道大学)、大澤正美(日本大学生産工学部)、小俣幸嗣(筑波大学)、野瀬清喜(埼玉大学) 理事長：西田孝宏(山梨学院大学)、副理事長：中村一成(防衛大学校)、吉鷹幸春(桐蔭横浜大学)、理事：木村昌彦(横浜国立大学)、高橋進(関東学園大学)、越野忠則(国際武道大学)、岩崎卓(流通経済大学)、岡田弘隆(筑波大)、矢崎利加(国際武道大学)、廣川充志(桐蔭横浜大学)、監事：木村仁(神奈川大学) 小川正行(群馬大学)、事務局長：三宅仁(平成国際大学)、事務局次長：山部伸敏(山梨学院大)、増地克之(筑波大学)。本連盟の更なる発展のためにご尽力いただきたい。

さて、平成 22 年度の本連盟の主な事業計画は、5 月 23 日関東学生柔道優勝大会、同女子大会、9 月 4、5 日関東学生柔道体重別選手権大会、同女子大会の競技会の開催、年 1 回の審判講習会の開催及び海外研修の実施である。

昨年度は本連盟独自の海外研修の一環として、香港国際大会へ関東学生柔道連盟から 13 名の選手を派遣し、金メダル 4 個・銀メダル 2 個・銅メダル 2 個を獲得することができた。この好成績をステップとして参加選手には更なる飛躍を期待する。

また、本年は東京世界選手権開催の年である。本連盟に在籍している 66kg 級の森下純平選手(筑波大学)、73kg 級の栗野靖浩選手(筑波大学)、81kg 級の中井貴裕選手(流通経済大学)、90kg 級の西山大希選手(筑波大学)、48kg 級の浅見八瑠奈選手(山梨学院大学)、78kg 級の緒方亜香里選手(筑波大学)には、日本代表として金メダル獲得を目指し、日本国民に感動と勇気を与えるような素晴らしい柔道を期待したい。

関東学生柔道連盟 事務局長 三宅 仁

## 【東京】

### 課題に積極的に行動を！ 高木長之助会長

三期目の高木長之助会長は、会長就任時に述べられた『身の丈にあった連盟運営を心がけ、健全な運営をしていきたい』との考えを基本として、新執行部とともに、現在の柔道界が直面している課題にも学生柔道連盟の立場で積極的に行動していくことをあらためて表明されました。

この方針を基に「運営ガイドライン」を策定し、その実をあげるために、執行体制の充実をはかり、「自主財源ベースの運営」を大きな目標の一つにおいています。近年、高木会長のリーダーシップのもと財政状況は安定しており、適正な決算をしております。

これまで事務効率化の一環として、IT化の推進を図り、連盟ホームページの充実、事務の効率化を図るためにメールによる事務連絡の徹底、大会申し込みのデータ化を試行するなど多くのことに取り組みました。

佐藤前会長が提唱された「Come Back 柔道」の具体策として、「連盟サポーター制度(賛助会員制度)」と連携させ、試合会場にサポーター専用シートの設置や、全日本学生柔道優勝大会・全日本学生柔道体重別選手権大会でのテールームの設置は、大変好評いただいております。学生柔道のOBの皆様が多く集うことのできる場所の提供を今後も定着させていきたいと考えています。

学生柔道の振興普及事業として、今年度で5年目を迎える「柔道出前講座」は、大変評判がよく、昨年度は参加人数が60名を越える会場もあり、年々参加校が増えています。また、今年度は東京学生柔道連盟に帝京科学大学・東京有明医療大学が新に加盟し、今後も学生柔道振興普及のため、加盟校数を増やしていく方針です。さらに社会貢献・奉仕の心を養うために、例年通り全日本視覚障害者柔道大会の運営協力を行いました。

今年度におきましては、昨年度同様に学生柔道連盟が社会に有為な人材を輩出するためにも教育的な視点で普及活動の充実・推進をしていくことが必要であります。また、事務的な取り組みとしては、ホームページの充実や、大会申し込みのデータ化の発展としてWEBによる大会申し込み化、事務の効率化等、一層のバージョンアップを鋭意検討中です。

また、現在、問題視されている皮膚真菌症(トルコフィトン・トンズランス)対策にも積極的に対処していきます。当連盟加盟学生全員を対象とした皮膚真菌症検査を本年も実施し研修会を設けて、治療を徹底するというものです。さらに開かれた連盟運営の具体的な取り組みとして、加盟校全学生を対象としたアンケート調査を行い、柔道の60周年に備えるとともに、今後の事業計画の基礎資料にしていく考えです。

本年度も、学生役員を中心にした運営を心がけ、加盟校の意見を反映させることにより、開かれた連盟運営を行っていきたくて考えていますので各地区連盟並びに関係各位のご協力をお願いいたします。

### 東京学生柔道連盟 平成22年度・23年度役員

会 長	高木長之助
副 会 長	関 勝治 小山 泰文 福井鉦之輔 大八木 諭
理 事 長	網倉 大介
副 理 事 長	西川 直好 島村 昌利
監 事	橋本 敏明 藤根 崇雄
事 務 局 長	島村 昌利
総務事業委員長	西川 直好
財務委員長	島村 昌利
普及委員長(審判担当)	白瀬 英春
普及副委員長(強化担当)	廣瀬 伸良
普及副委員長	佐藤伸一郎

東京学生柔道連盟 理事長 網倉大介

### 学生委員より

私達東京学生柔道連盟学生委員は春の交代により、3名の4年生が卒業し、新たに2名の学生が入ったことで、4年生4名、3年生2名、2年生1名、1年生1名の計8名となりました。これにより新年度は全学年揃っての新体制としてスタートを迎えることが出来ました。みな出身や大学も様々で、本当に個性豊かで楽しいメンバーです。しかし、仕事となると見違える程真面目になり、学生とは思えない働きをします。また学生同士、チームワークも良く、大会運営や学生柔道発展のための事業といった連盟の主な仕事に対し、例年に無いほどのチーム結束力で最高の成果を目指したいと思います。

こういった連盟の仕事は普通の学生ではなかなか経験出来ないことなので、私達学生は学生柔道連盟に携わることが出来たことをチャンスとして、個人としても団体としても大きく成長していこうと思います。また同時に、社会へ出て活躍出来るように連盟を通じて組織運営力・目標達成力を磨き、主体性・実行力・柔軟性を養っていくことも考えております。

私達も、柔道を志す者として、稽古の厳しさを忘れず、日々稽古を積み重ねている選手のみなさんと同じ気持ちで

精一杯事業に取り組んでいきたいと考えております。

今年度も、全日本学生柔道優勝大会・全日本学生柔道体重別選手権大会の主管を私達が務めさせていただきます。来年度は全日本学生柔道優勝大会が60回記念を迎えるので、その記念大会へ繋げるためにも今大会を素晴らしいものにしていきます。

近年では少子化などが大きな問題となっておりますが、私達は新しい事業を取り入れ、そういった中でも柔道の普及・柔道の発展の一助となれるよう、精一杯努力致しますので、各地区連盟並びに関係者の皆様には改めてご理解、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

東京学生柔道連盟 学生委員長 白濱陸海

## 【東海】

### 1. 平成22年度の活動について

平成21年度に、長谷川優会長、金子修巳副会長及び関巖副会長の就任を始め、理事長を除く役員の変更があり、新体制での活動となりました。

旧体制は、理事長でもある現会長と副理事長だった2人の現副会長が鼎となり、長年に渡り運営の維持向上と連盟の内外の問題に取り組んできました。

理事長を補佐する立場である副理事長に久野高裕氏と共に就任し、新体制による運営に取り組んできましたが、大会運営等において慣れないことが多く、無我夢中の1年間でした。

2年目となる本年度は、「地域の特性を活かした競技力強化」、「グローバル化を視野に入れた人材の育成」及び「構成員の知恵の集結による活力ある組織づくり」を活動目標とし、昨年度の反省を活かしつつ、実現に向け取り組みます。

### 2. 平成22年度の総会について

平成22年度における活動の皮切りとして、総会・理事会を4月17日に愛知県武道館第2会議室において開催し、21年度の行事報告と決算及び22年度の行事予定と予算の承認を委任校を含めた加盟33校から得ました。

また、新たな試みとして、加盟校の競技力と審判力の向上を目的とする競技委員会の設置と、同委員会を構成する強化部と審判部のアドバイザーと委員の選定について提案があり、承認されました。

### 3. 審判講習会の開催

審判の資質向上をめざし、4月24日に愛知県武道館第1会議室において、中京大学体育学部竹内外夫教授（八段・元全日本柔道連盟専門委員会審判委員）を講師に招き、指導者、審判員、学生の参加のもと開催しました。

5月16日に行われる東海学生夏季優勝大会は、下半

身への直接攻撃を禁止する新ルールIJF試合審判規定によって行われます。

参加者の多くは公式戦において、初めてのルール経験となるため、同大会に先立ち開催しました。

講習会では、IJF試合審判規定に係る要点を絞った体系的な説明と、下半身への直接攻撃についての重点的な説明がありました。

また、質疑応答では受講者の実践を想定した質問に対し、講師からの確かな回答を得ることができました。

### 4. 平成22年度 主催大会

5月16日（日）

第57回 東海学生夏季優勝大会

第17回 東海学生夏季女子優勝大会（愛知県武道館）

8月28日（土）

第28回 東海学生体重別選手権大会

第27回 東海学生女子体重別選手権大会

（愛知県武道館）

9月11日（土）

第12回 全日本学生体重別団体優勝大会選考会

（中京大学柔道場）

11月21日（日）

第58回 東海学生冬季優勝大会（愛知県武道館）

11月27日（土）

第3回 東海学生女子冬季優勝大会（愛知県武道館）

東海学生柔道連盟 副理事長 福井博泰

## 【北信越】

北信越学生柔道連盟は、現在、20の大学・高等専門学校から構成されています。

近年、本連盟は加盟校・部員の増加を目的として、色々な取り組みをしています。春季・夏季の強化合同練習はその一つです。さらに、7年前から始めた湊谷杯も第6回大会を機に北信越地域以外からも広く参加を募った結果、昨年度は東北地区から中国・四国地区までの32校の大学、総勢328名の学生が出場しました。今回は前回大会の反省をふまえて熟練度や競技レベルの差異によってA、Bのグループに分かれて試合を行いました。この大会は学生としては珍しく初心者の部を設け、白帯のみの参加者で行う試合や優秀な審判員を表彰するなど新しい試みを行っています。

さらに、昨年度は石川県柔道連盟の全面的な協力の下にC級審判員のライセンス取得試験の実施までを視野に入れて行いました。初日の審判講習会、筆記試験から始まり実技試験までの内容の非常に濃いカリキュラムで行われました。当日、ご協力いただいた審判員の先生方にはこの紙面をお借りし、心より御礼申し上げます。

この大会は、予選リーグなどを行い最低でも2試合は出来る方法を採用しています。さらに、敗者復活戦もあります。日頃の練習の成果を試すための機会としては非常に有効です。また、現役を退いた選手にとっては審判員としての審判法・技術などを修得するための機会にもなります。今年度も全国から多くの出場者を募ります。

※湊谷杯全国学生体重別選手権大会の参加申込みにつきましては下記の担当者を通してお申し込み下さい。

男子担当：	渡辺直勇	金沢学院大学	076-229-8843
	鈴木貴士	金沢工業大学	076-248-9926
女子担当：	吉見浩二	高岡法科大学	0766-63-3388
	渡辺涼子	金沢学院大学	076-229-8867

### 【事業予定】

5月15日 北信越学生柔道連盟役員総会  
 5月16日 北信越学生柔道優勝大会  
 8月16～20日  
     北信越学生夏季強化 (金沢学院大)  
     男子合同練習  
     女子は8月2～4日 (塩谷建設)  
 9月4日 北國杯北信越学生柔道体重別選手権大会  
 9月5日 北信越学生柔道体重別団体優勝大会  
 12月4・5日  
     湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会  
     審判講習会及び実技試験  
 2月28～3月4日  
     北信越学生春季強化合同合宿  
     (男子：金沢工業大学)

3月2日 北信越学生柔道連盟形講習会  
     (講師：岡田 勝先生 固の形)  
 3月4日 北信越学生柔道連盟常任理事会・懇親会  
 3月28～30日  
     北信越学生柔道連盟春季合同練習  
     (女子：金沢学院大学)

※強化練習会などの詳細な日程につきましては、事務局の吉見までお願いします。  
 ※高岡法科大学内 北信越学生柔道連盟事務局  
 TEL (代表) 0766-63-338  
 mail : yoshimi@takaoka.ac.jp

## 【関西】

- 平成22年度関西学生柔道連盟行事予定
  - 5月23日 (日)  
     第60回 関西学生柔道優勝大会  
     第18回 関西学生女子柔道優勝大会
  - 9月4日 (土)  
     第12回 関西学生柔道体重別団体優勝大会  
     第22回 関西学生女子柔道体重別選手権大会
  - 9月5日 (日)  
     第29回 関西学生柔道体重別選手権大会
  - 10月30日・31日 (土)・(日)  
     全日本学生柔道体重別団体優勝大会  
     (男子12回・女子2回)
- 本年度の抱負
 

現在、当連盟は学連役員が減少しており、普段の作業から大会の運営等が困難になっています。各大学、一人一人の協力が大いに必要となっています。一人でも多くの学生が、学連に興味・理解を持っていただき、協力していただければ幸いです。

特に今年からは全日本学生女子柔道体重別団体優勝大会が関西で行われるので、より一層加盟大学の協力が必要となってきます。学生一人一人が大きな力となるので、全員が協力できる連盟を築き上げていきたいです。
- 加盟校
 

現在52校が加盟しています。

## 【中国四国】

本連盟は、平成22年2月11日に広島国際大学において常任委員会を開催しました。今年度は、役員改選の年でしたが、常任理事会において吉岡理事長が満場一致で再選され、平成22年度の行事・予算・人事配置なども決定し、新たなスタートを切ることとなりました。

本連盟は、ここ数年、女子選手の活躍が著しく、前年度も全国大会において大変健闘し、輝かしい成績を残すことができました。今年度においても、さらなる活躍を期待しています。また、男子選手においても、本連盟主催の強化合宿等を通して、全国大会で奮起し上位へ進出してくれることを大いに期待しています。

今年度も、中国四国学生柔道連盟（加盟校30校）一丸となって頑張ってもらいますので、よろしく願いいたします。

### 行事予定

- 平成22年2月11日（木・祝）  
中国四国学生柔道連盟 常任理事会（広島国際大学）
- 4月11日（日）  
中国四国学生柔道連盟 定例幹事会（岡山商科大学）
- 5月21日（金）  
中国四国学生柔道連盟 理事会・総会  
中国四国学生柔道優勝大会  
中国四国学生女子柔道優勝大会（岡山県立武道館）
- 5月22日（土）  
中国四国学生柔道優勝大会  
中国四国学生女子柔道優勝大会（岡山県立武道館）
- 7月11日（日）  
中国四国学生柔道連盟 定例幹事会（広島修道大学）
- 8月28日（土）  
中国四国学生柔道体重別選手権大会  
中国四国学生女子柔道体重別選手権大会  
（広島市東区スポーツセンター）
- 8月29日（日）  
中国四国学生柔道体重別団体優勝大会  
（広島市東区スポーツセンター）
- 9月上旬・2月下旬  
中国四国学生柔道連盟 男女強化合宿  
（2泊3日・場所未定）  
中国四国学生柔道連盟 事務局 梶津 良仁

## 【九州】

平成22年度総会を5月22日に開催し、議題は全てご承認いただき可決決定いたしました。

また、本年は役員改選の時期にあたり。会長・副会長・理事長・副理事長の先生方には留任をお願いし、九州学生柔道の発展の為に指導いただくことになりました。

九州学生柔道優勝大会を5月22・23日に福岡武道館において開催し、男子22校（229名）・女子11校（56名）が参加して熱戦が繰りひろげられました。結果は次の通りです。男子1部優勝福岡大（37回目）・2部優勝宮崎産業経営大学（初優勝）。女子5人制優勝福岡大（8回目）・3人制優勝福工大（5回目）。6月26・27日に開催されます全国大会に男子6校（福岡大・鹿屋体育大・日本経済大・日本文理大・九州共立大・熊本大）、女子5人制2校（福岡大・九州共立大）・3人制4校（福岡工業大・鹿屋体育大・日本文理大・九州大）が出場致します。

※役員及び22年度の九州地区の行事は次の通りです。

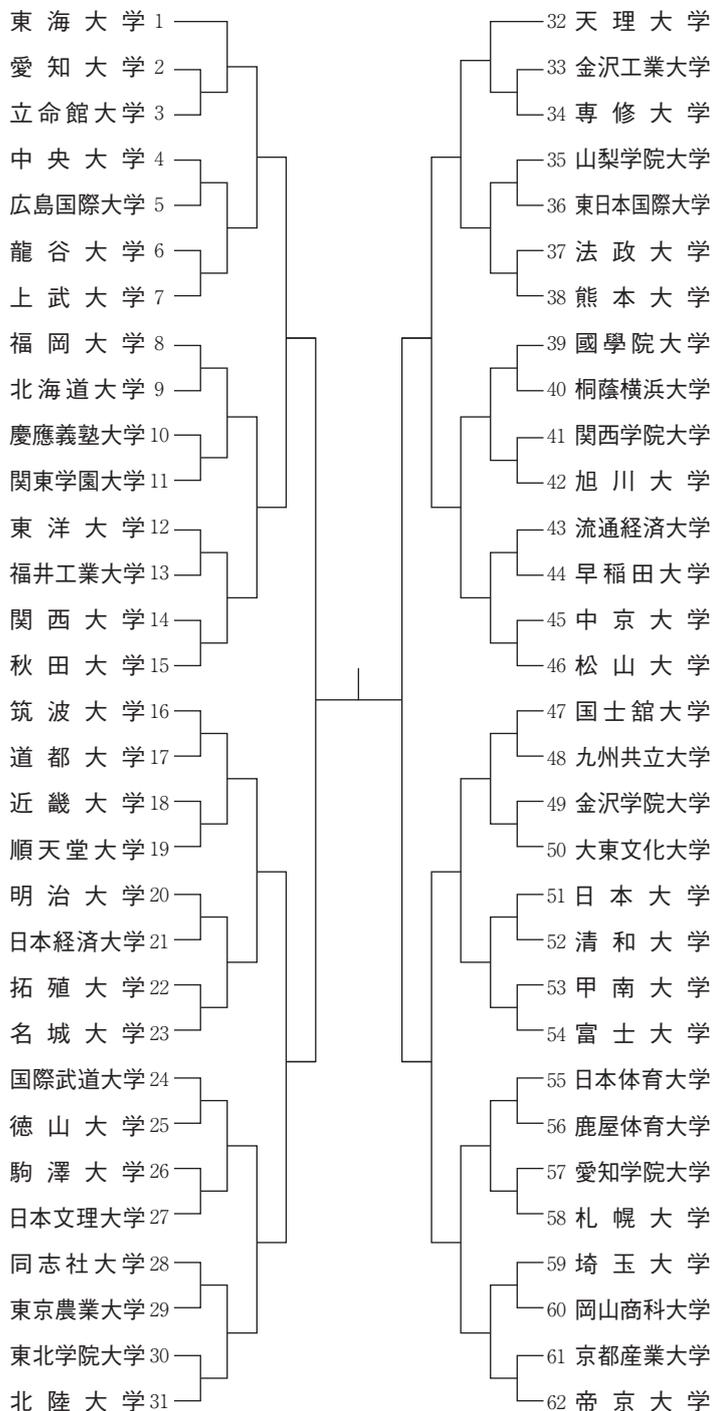
会 長	藤田 弘明
副 会 長	筑紫 仁、園田 勇
理 事 長	中原 一
副理事長	安河内春彦
事務局長	野田 修

- 5月22日（土）定例総会  
5月22日（土）第59回九州学生柔道優勝大会2部  
5月23日（日）第59回九州学生柔道優勝大会1部  
第19回九州学生女子柔道優勝大会  
9月4日（土）第24回九州学生女子柔道体重別選手権大会  
9月4日（土）・5日（日）  
第54回九州学生柔道体重別選手権大会

# 平成22年度全日本学生柔道優勝大会(男子59回 女子19回)

— 6月26・27日 開催 —

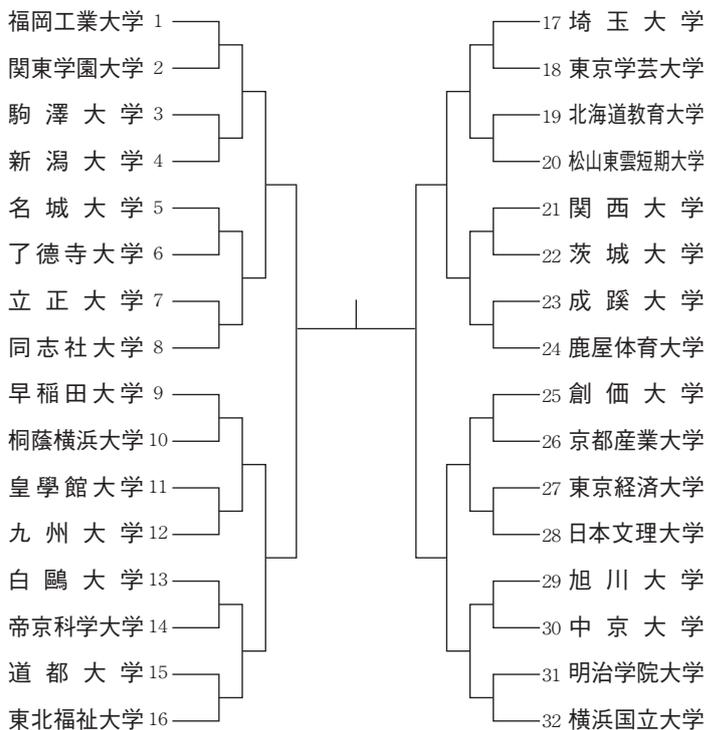
## 男子団体対戦表



## 女子団体5人制対戦表



## 女子団体3人制対戦表



社団法人 全日本学生柔道連盟 (ALL JAPAN UNIVERSITY JUDO FEDERATION)

事務所 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館2階

TEL 03-3818-1587 FAX 03-3818-1960

E-mail:gakujuren@gakujuren.or.jp URL:http://www.gakujuren.or.jp